

別紙 1
(評価基準表)

No.	審査項目		審査基準	配点
1	企画提案書評価	(ア) 業務内容の理解	<ul style="list-style-type: none"> ・業務内容全体を十分理解しているか。 ・仕様書の趣旨に沿った上で、本業務の取組などに係る実施方針や基本計画の考え方が示されているか。 	10
		(イ) 実施体制及びスケジュール	業務の遂行に対して、適切な実施体制、実施スケジュールとなっているか。	10
		(ウ) 機能要件	端末等が仕様書の機能要件を満足しているか。	10
		(エ) システム運用保守	システム導入後の運用保守について、適切な連絡体制が確保され、ランニングコスト低減の取り組みが図られているか。	10
		(オ) 独自提案	メンテナンスの高度化・効率化に向けたデジタル技術が活用されているか。(上下水道DXカタログ技術等の活用)	20
2	将来的な導入効果		管路施設等維持管理コストの縮減等、本市のストックマネジメント向上に役立つ内容となっているか。	20
3	プレゼンテーション能力		<ul style="list-style-type: none"> ・企画提案書に沿った理解しやすいプレゼンテーションであったか。 ・質疑に対して明瞭かつ的確な応答であったか。 	10
4	価格評価		最も見積額が低い業者を満点とし、その金額を基準として比率で減点を行う。	10
合計				100